てまなし見積2

ユーザーズマニュアル

2016/04/01 版

もくじ

「てまなし見積」とは ―――― 2
スタートページ ―――― 3
品目包装データ 読込 ―――― 4
薬価基準データ 読込 ―――― 6
薬局名、卸問屋名称 設定 ―――― 8
見積品目 ファイル読込で設定 ―――― 11
　見積品目特定 個別追加削除 ―――― 11
　見積品目特定 データ読込 ―――― 11
見積品目 設定、削除 ―――― 12
見積依頼 Excel ファイル作成 ―――― 14
回収見積依頼 Excel ファイル読込、集計 ―――― 15
見積結果を検索する ―――― 16
　落札品目 検索表示、出力 ―――― 17
　見積結果 一覧表を表示 ―――― 18
　見積結果 ファイル出力 ―――― 18
　保管見積結果 落札価経時変化 ―――― 19
　過去の見積結果の確認 ―――― 21
見積結果を保管する ―――― 22
利用期限更新 ―――― 23

連絡先 ―――― 25
よくある質問 ―――― 25

「てまなし見積」とは

調剤薬局、病院、診療所から卸問屋さんへの見積の作業をフルサポートするプログラムです。

見積ファイル作成から手間のかかる落札卸の集計をワンクリックで実行します。

また、ヒアリング等、過去からの見積価の分析のサポートもこなします。

見積に出す品目の特定は極めて簡単です。コンピュータからの出力ファイルにある各種コードや、卸問屋さんから納入品目の JAN コードリストを入手し、読み込ませることで、見積に出す品目を特定します。

それら品目の全部の包装を見積対象にします。そして、その品目のジェネリック品を含めた品目を対象に拡大することも選択することができます。

プログラムの利用方法は、このマニュアルを参照していただくことと、各ページにある「ヘルプ」を参考にしてください。

見積を出すにあたり次の手順で行います。

1. 品目包装データを入手します(ネットからの入手法は後述)。
2. 薬価基準データを入手します(必須ではない。ネットからの入手法は後述)。
3. 見積を依頼する品目包装を(データの読込ことで)特定します。
4. 見積品目を必要に応じ追加削除します。
5. 薬局名(会社名)をファイル識別のため、入力します。
6. 見積依頼をする卸問屋さんを入力します。
7. 「見積依頼 Excel ファイル」を作成し、卸問屋に値入をしてもらいます。
8. 「見積依頼 Excel ファイル」を回収します。
9. 結果集計を行います。
    - 品目ごとの落札卸問屋さんを特定し、「見積結果集計ファイル」を作成します。
    - 卸別落札品目の Excel ファイルを作成します。
    - 品目包装別落札価格の Excel ファイルを作成します。
    - ジェネリック医薬品を含め、1 錠(薬価単位)当たりの差益計算をしていますので、どのジェネリックブランドを選択するか？交渉の着地点の目標の分析のアシストになると考えます。
    - 製造会社情報も保持しています。ジェネリック医薬品は、直ぐに品薄になります。その場合、販社が異なっても製造元が同一の場合、PTP デザインは同じ可能性が高いものです。卸問屋も分かっていますので、リスク時の対応には重宝すると考えます。
    - 最後の集計結果は保持していすので、簡単に検索を行えます。
      また、別途、５回分の見積結果を保管できます。継時的な分析を行

うためです。

10. 保存しておいた見積結果を比較し、落札価格、卸問屋の動きを確認し、ヒアリング対策とします。

見積の依頼を行うにあたり、品目を特定するのには、調剤システムからの(コード類を含む)出力データや、卸問屋さんから提供してもらえる JAN コードリストを読込むことで、簡単に特定できます。そして、その品目の全包装に対して、見積対象にしますので簡単な作業になります。

また、見積対象品目をジェネリック医薬品にも拡大することも選択できます。ジェネリック医薬品を含んでの見積実施は薬価差益の検討、交渉のために作成しています。そして、ジェネリック医薬品が品不足に陥った時、リスクの少ない代替品選択の助けになります。

結果集計は卸問屋数、品目数にもよりますが、10 分程度で終了しますので、かなりの省力化をお約束します。

保存しておいた見積結果から、見積価の流れの分析ができますので、見積後の値引き交渉の資料になるお思います。

スタートページ

プログラムを開始すると下の画面が出ます。

各ページには「ヘルプ」ボタンがついています。そのページ自体の解説になります。

このプログラムの利用期限や読込データの日付が確認できます。

プログラム終了は「終了」ボタンでもページの「×」ボタンでも問題なく終了できます。データベースのクローズでファイル最適化の遅れによりメッセージが出ることがありますが、問題はありませんのでそのまま終了してください。

利用期限:2017/01/31

現在の利用期限が表示されています。期限が近づくと赤色表示になりますのでご注意ください。

基本データ更新

左のボタンを押すことで、基本データ（薬品包装データ、薬価基準データ、薬局名、見積を出す卸問屋名）を設定するページに移行します。また、利用期限更新のページにも移行できます。

見積品目特定

左のボタンで見積品目を特定するページに移行します。

見積依頼ファイル作成

左のボタンで、見積依頼 Excel ファイルを作成するページに移行します。

見積依頼ファイル回収集計

左のボタンで、回収した見積依頼 Excel ファイルを読み込み、集計するページに移行します。見積結果を保管することもこのページでできます。

見積 結果検索

左のボタンで、見積結果を確認することや、保管している見積結果の集計をすることができるページに移行します。

基本データ読込状況
薬品包装データ：2015/12/31版 読込済
薬価基準データ：2015/12/11版 読込済
品目特定データ：2016/03/02 読込済

集計実施日： 2016/03/04 集計

保管データ： 2015/02/30 2015年再見積
2015/02/10 2015年1回目
2014/03/04 2014年最終
2013/03/04 2013年最終
2012/03/04 2012年最終

現在読み込んでいる
基本データがいつのデータか？
システムとして保持している見積結果はいつ集計したものか？
保管している見積結果はいつのデータか？
を確認することができます。

品目包装データ 読込

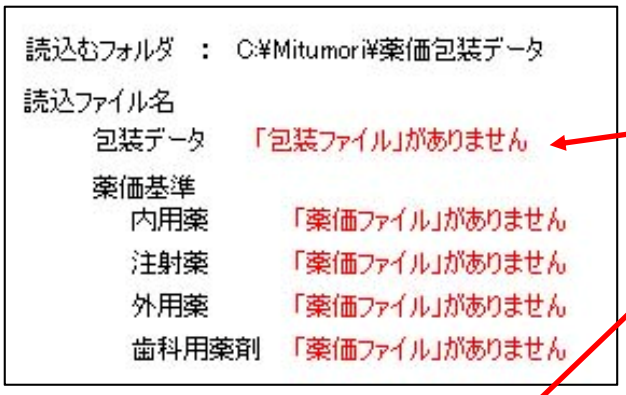
スタートページの下記ボタンで品目包装データを読み込むページに移行します。

基本データ更新

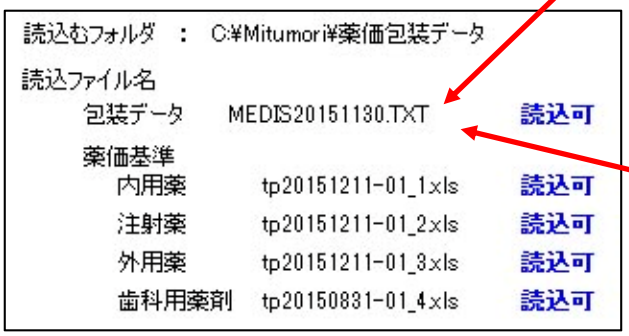
品目包装データを配置してもらう場所は、ドライブ C の「Mitumori2」内の「薬価包装データ」フォルダになります。このフォルダにダウンロードしたファイルをコピーしてください。

システムに「品目包装」データを読み込んでも、ファイルは削除されませんので

ご安心ください。



コピーされたファイルが品目包装のファイルと認識されると、この表示がファイル名（MEDISxxxxxxxx.TXT ：xxxxxxxx はデータ日付)に変わります。そして読込ボタン(下のボタン)が押せる状態に変わります。



また、読込ボタンの下には、現在読み込み済みの品目包装データの日付が表示されています。

品目包装データ名称は「MEDIS」で始まりデータの版（上記の例は 2015 年 11 月 30 日版データ）が記載されているテキストデータです。

医薬品の包装データ入手方法

インターネット上にある薬品包装データをダウンロードしてきて読込み、利用します。

検索サイトで「HOT コードマスター」と検索してください。医療情報システム開発センター様のインターネットサイトにて入手できます。医療機関の利用につき、無料で利用できるようです。（ www2.medis.or.jp/hcode/ ）

年 4 回程度、更新されているようですので、最新のデータを入手することをお勧めします。

無料で利用できるとのことですが、使用許諾はサイト記載の方法に従っていただきますよう、お願いします。

ご注意！！

「薬品包装データ」において「規格」は判断していますが、一部において誤った判断がなされている可能性があります。「薬価基準」データを読込んで値引き率を計算したときに異常値が出ることがあります。規格で包装薬価を修正するようにお願いします。

（規格　1 錠 XX 円、0.5mlXX 円）

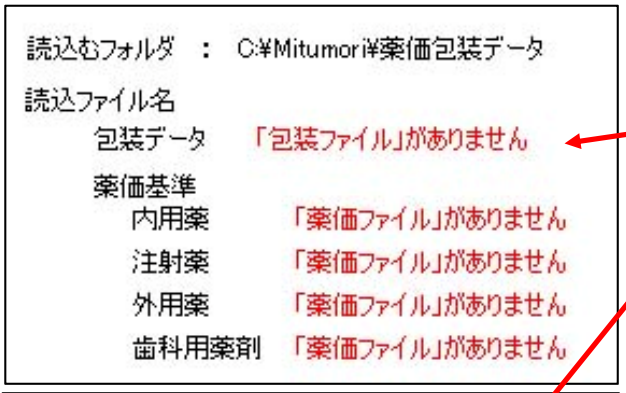
薬価基準データ読込

スタートページの下記ボタンで品目包装データを読み込むページに移行します。

基本データ更新

基本データを配置してもらう場所は、ドライブCの「Mitumori2」内の「薬価包装データ」フォルダになります。このフォルダにダウンロードしたファイルをコピーしてください。

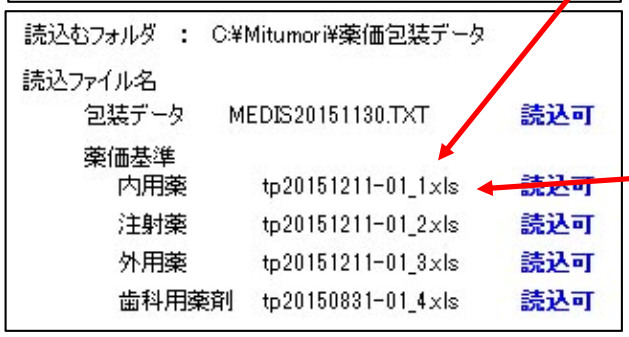
システムに「薬価基準」データを読み込んでも、ファイルは削除されませんのでご安心ください。



コピーされたファイルが薬価基準のファイルと認識されると、この表示がファイル名（tpxxxxxxxx-XX.xls : xxxxxxxx はデータ日付、XX はデータ種別コード）に変わります。そして読込ボタン(下のボタン)

薬価基準データ 読込

が押せる状態に変わります。



また、読込ボタンの下には、現在読み込み済みの品目包装データの日付が表示されています。

薬価基準データ名称は「tp」で始まりデータの版（左記の例は 2015 年 12 月 11 日版内用薬データ）が記載されているテキストデータです。

薬価基準データ

厚生労働省のインターネットサイトに最新の薬価基準データがあります。それを入手して読み込んでください。

薬価基準データは必須データではありませんが読み込むことをお勧めします。

検索サイトで「薬価基準」と検索してください。厚生労働省の Web ページがヒットしてくると思います。それを選択してください。

だけただし、最新の薬価基準情報がヒットしてきているわけではありませんので、左記のような記載事項にご注意してください。

この画面では、最新の薬価基準のページは２つ目になります。

ページにジャンプすると左記のような画面になります。データ日付を確認してください。

ページの下部に移動していくと左のような記載が出てきます。

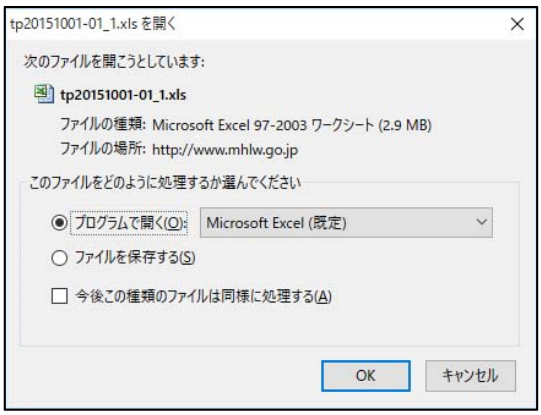
「薬価基準データ」は４本に分割されています。

１．内用薬
　tpxxxxxxxx-01_1.xls になります。

２．注射薬
　tpxxxxxxxx-01_2.xls になります。

３．外用薬
　tpxxxxxxxx-01_3.xls になります。

４．歯科用薬剤
　tpxxxxxxxx-01_4.xls になります。



各ハイパーリンクをダブルクリックすることで次の画面が出てきます。

「このファイルを保存する」を選択してください。「OK」ボタンを押すことで、「薬価基準データ」を入手することができます。

この入手データをドライブＣの「Mitumori2」内の「薬価包装データ」フォルダにコピーしてください。

ご注意！！

「薬価基準データ」のデータ配列は変わることがあるようです。もし、読込が正常にできない場合、データの並びをご確認ください。以下の項目を読込んでいます。また、薬価基準はＭ～Ｎ列にあれば自動的に読み込むように設定しています。また、Ｂ列の薬価基準収載コードとＭ～Ｎ列の薬価基準が読み込まれていれば最低限の作業は可能です。

Ｂ列　薬価基準収載コード
Ｃ列　成分名
Ｈ列　品名
Ｊ列　後発品のフラグ
Ｋ列　先発品のフラグ
Ｌ列　後発品のある先発品のフラグ
Ｍ～Ｎ列　薬価基準

薬局名、卸問屋名　設定

当初はシェアウェアとして機能制限がかかっています。

最下段に次のメッセージが出ていれば、機能制限中になります。機能制限の内容は、

試用期間中、機能制限がかかっています。

卸問屋さんの名称登録が 3 軒までしかできないようになっています。（4 件目以降はグレーアウトしています）

機能制限中はプログラムのバグではありませんのでご了承ください。

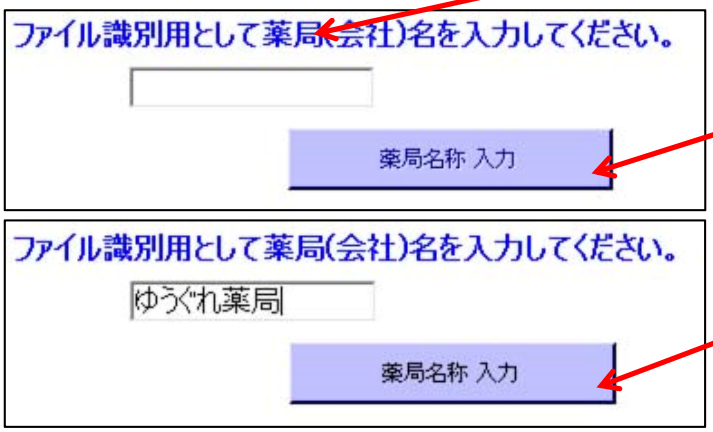
グレーアウトしている画面です。機能制限が解除されれば、10 軒まで入力することができるようになります。

他の薬局のファイルと区別するために、薬局名（会社名）を登録してください。薬局の名称は必須項目ではありません。見積を出す卸問屋さんの名称を登録します。

この名称は見積を依頼するファイル「見積依頼 Excel ファイル」のファイル名に使われます。卸問屋さんの名称は必須項目になります。

名称の入力

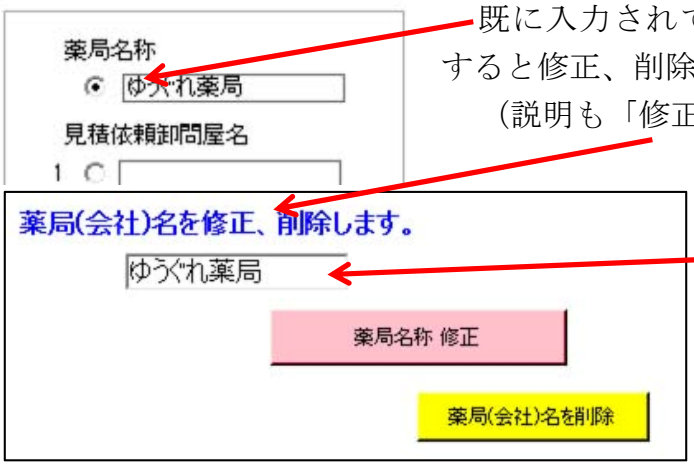
ラジオボタンとテキストボックスの上の説明で、どの項目を入力中かを判断してください。



名称が未入力の場合、入力ボタン（この場合は「薬局名称 入力」）は押せない状態になっています。

名称を入力すると入力ボタンは押せる状態に変化します。

名称の修正



既に入力されている項目のラジオボタンを選択すると修正、削除モードになります。

（説明も「修正、削除」に変変わります）

選択した項目の名称がテキストボックスにコピーされます。

修正の場合：名称を修正し、ピンク色のボタンを押してください。

削除の場合：黄色の削除ボタンを押してください。

この見積システムは過去の見積価との比較機能を有しています。そのため、卸問屋さんの名称は、その時限りの使用ではなく過去の見積との比較に利用します。よって、修正、削除には気を付けてください。過去との比較に支障をきたす場合があります。

名称変更：内部コードは同じものが使われますので卸問屋さんとしては同一として扱います。卸問屋さんの合併などの時は取引の多い卸問屋や、存続母体の卸問屋さんの名称を変更することをお勧めします。

名称削除：名称、コード自体を廃棄します。過去の見積状況の実績としては確認することができます。
例外として同一名称（漢字、かなを含めてすべて同一）を登録すると一度削除した名称、コードを含め、復活させることができます。

薬局(会社)名、卸問屋さんの名称登録

これらの名称は、見積依頼のファイルを作成する時にファイル名として一緒に使われます。他の薬局の見積ファイルとの区別が目的ですので、わかりやすい名称（薬局名、会社名）を入力してください。

作成されるファイル名称
　　ゆうぐれ薬局_見積_アスフレ.xlsx

ご注意！！

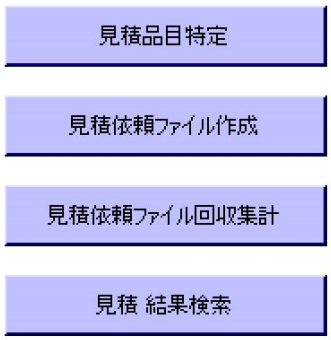
この薬局名、卸名の情報に基づき、見積のファイルを作成します。また、卸問屋さんから回収したファイルを読み込むときにも使用します。そのため、「見積依頼 Excel ファイル」を作成した後に、見積ファイルを回収、集計を終了するまで、名称変更をしないでください。ファイルを読めなくなる可能性があります。

また、Windows のファイル命名規則にのっとる必要がありますので半角の
/、¥、：、|、<、>、*、?、”　は使用できません。（入力できません）

システムとして、見積の集計結果を５回分、保持しています。過去との比較レポートを作成するためです。その中に、卸問屋さんの名称も同時に保持しています。

見積集計を行った後に卸問屋さんの名称を変更しても問題はありません。また、名称を変更しても、過去の見積の集計結果には影響を及ぼしません。
（集計時の卸問屋名称が残ります）

見積品目　ファイル読込で設定



スタートページの「見積品目特定」のボタンを押すことで、作業を行うページに移行します。

見積を依頼する品目を簡単に特定します。設定方法は 2 通りあり、品目包装を検索し見積品目に設定したり解除したり、データファイルを読み込むことで設定する方法です。

1．品目を検索し、見積対象の品目として設定、解除していきます。

左のボタンを押すことでその画面が出てきます。1 品目ずつ設定していきます。しかし、この作業は作業量として、現実的ではないと思われますので、「見積の数品目の追加や、見積対象から外す作業」とお考え下さい。(次の項目で解説します)

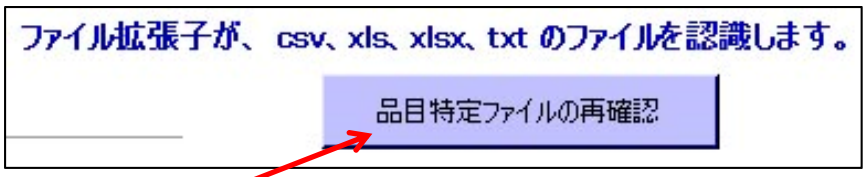
2．薬品コードを含むデータファイルを読込み一括で登録します。

調剤システムからの出力データや、卸問屋さんに作成してもらえる JAN コードデータを読込むことで、その医薬品の全包装に見積を依頼できます。

読込みたいファイルをドライブ C の「Mitumori2」フォルダ内「品目特定」フォルダに保管してください。

同時に 12 ファイルまで一括で読み込むことができます。今回、読み込むことで、前回読込んだ設定データはクリアされますのでご注意ください。(ユーザーが別途設定した品目データには影響しません)

左の図は、読み込むファイルが認識されていない状態になっています。読込むファイルが存在していませんので「データ読込」ボタンは押せない状態になっています。また、前回の読込日が表示されています。



「品目特定」フォルダに読込むファイルを格納し上のボタンを押してください。ファイルの存在を再度確認します。ファイルを認識すると読込可能状態になります。以下のファイル形式を認識し、一括で読み込むことができます。また、薬品コードはどの列にあっても認識できるように設

計しています。

読込むファイル形式（ファイルの拡張子で説明しています）

CSV ファイル　　カンマ区切りのテキストファイル
Xls ファイル　　古いタイプの Excel 形式のファイル
Xlsx ファイル　　現在の Excel 形式のファイル
Txt ファイル　　カンマ、Tab 区切りのテキストファイル

システムが認識できるコード体系は下記の５種類を認識します。

読込める薬品コード

HOT コード
JAN コード
薬価基準収載コード
個別医薬品コード
レセプト電算処理システムコード

ファイルを読込み、コードを検索し、品目を特定します。「薬品包装データ」に収載されているその特定品目の全包装を見積対象品目と設定します。

ご注意！！

見積品目設定のため、ファイルを読込むと、前回読込んだ設定がクリアされますので、設定用のファイルは同時に読む必要があります。

ただし、ユーザーが品目ごとに見積品目の設定/解除した情報はクリアされません。

見積品目　設定削除

見積を出す品目を新たに個別設定したり、解除したりするページです。

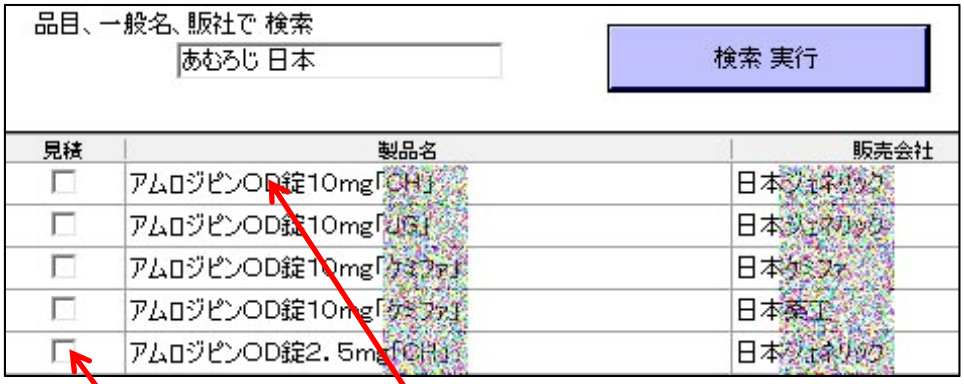
ご注意！！

このページを実行するためには、「薬品包装データ」が読み込まれている必要があります。読み込まれていない場合、下記の表示が出て、「検索実行」のボタンは押せない状態になっています。「薬品包装データ」を読込んだ後に実行してください。

「薬品包装」データが読み込まれていませんので検索できません。

検索 実行

見積品目の設定／解除は、簡単です。品目包装を特定し「見積」にチェックを付ける（外す）ことで完了します。



1．　品目を検索します

半角スペースで区切った 2 つの文字の AND のあいまい検索になります。品名、一般名、販売会社 に対して検索を行います。上の例では「あむろじ」と「日本」が半角スペースで区切られて入力され、検索キーになっています。

製品名(一般名)の「アムロジピン」にヒットし、かつ、販売会社に「日本」を含む品目包装の一覧が表出されています。

一般名に対する検索は「薬価基準」データが入力されている場合のみ可能です。

（一般名のデータが「薬価基準」データに収載されているためです。）

2．　見積の対象にしたい品目包装にチェックを入れてください。

チェックを入れることで見積の対象品目になり、入っているチェックを外すことで対象品目から除かれます。

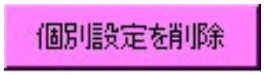
3．　個別設定が優先されます。

JAN コードファイル等を読込んで見積対象の品目包装となっていても、このページで対象から外した場合、このページの設定が優先されます。

また、コードファイルの読込での見積対象品目設定は「薬品包装」データに収載されているその品目の全包装を対象品目に設定します。しかし、このページで見積対象品目と設定／解除をする場合、包装毎の設定となりますので、ご注意ください。

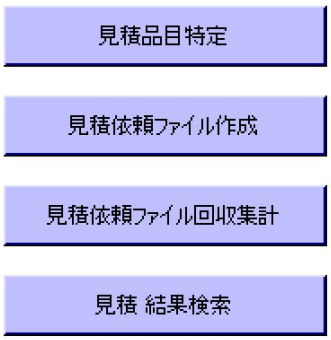
ご注意！！

このページを使っての見積品目の設定/解除は「薬品包装」デーを読込んでも、見積品目を特定するファイル類を読込んでもクリアされません。また、それらを読込んでもこのページでの個別設定が優先されますので、ご注意ください。このページの個別設定をクリアするためには左のボタンを押してください。



品目の検索では一般名での検索もできますが、「薬価基準」データが読み込まれている必要があります。一般名のデータは「薬品包装」データではなく、「薬価基準」データに含まれているからです。「薬価基準」データも読み込むことを推奨いたします。

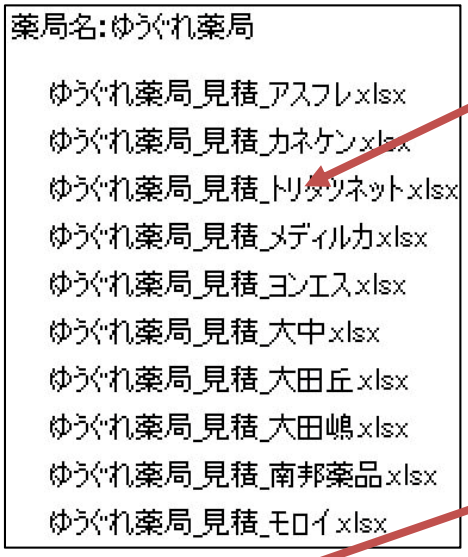
見積依頼 Excel ファイル作成



スタートページの「見積依頼ファイル作成」のボタンを押すことで、作業を行うページに移行します。

卸問屋さんに値入をしてもらう Excel ファイルを作成します。

ドライブ C の「Mitumori2」フォルダ内の「見積依頼フォルダ」に見積依頼 Excel ファイルが作成されます。画面には書出ファイル名が表示されます。薬局(会社)名と卸名の組合せでファイルとして書き出します。

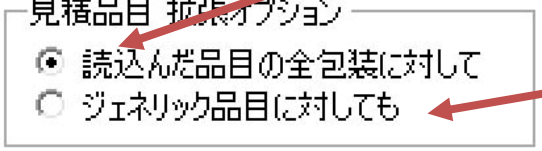


登録した卸名でファイルを作成します。

実際の書出しファイルを表示しますので確認してください。

見積品目は品目の全包装に対する見積ファイルと、その品目のジェネリック品目に品目を拡張するオプションがあります。

具体的な手順としては、品目特定ファイルに含まれるコードを読込み、品目を特定します。そしてその品目の全包装に対して見積としてファイルを作成するオプションです。

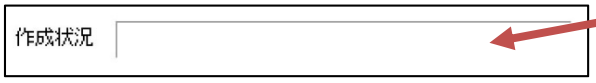


もう一つのオプションは、見積対象品目と同一の一般名（ジェネリック医薬品）をもつ品目全部を見積の対象に拡張するオプションです。安定供給等の条件もありますが、最安値(最大差益額)の品目を選択するサポート機能です。

これらの読込んだ品目設定ファイル、作成オプションでの見積品目数が表示されます。

当然、全卸問屋のファイルは同一のものが作成されます。

左のボタンを押すことで作成が開始されます。



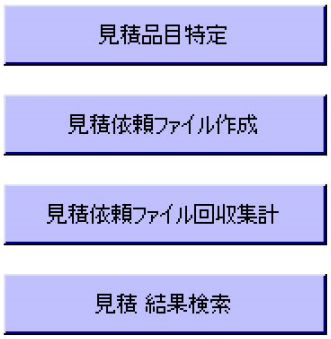
進行状況はこの進行バーの伸びで確認できます。

ご注意!!

見積対象品目が登録されていない場合、「見積ファイル作成」ボタンは押せない仕様になっています。「薬品包装データ」を読み込んでいない場合もボタンは使用することができません。

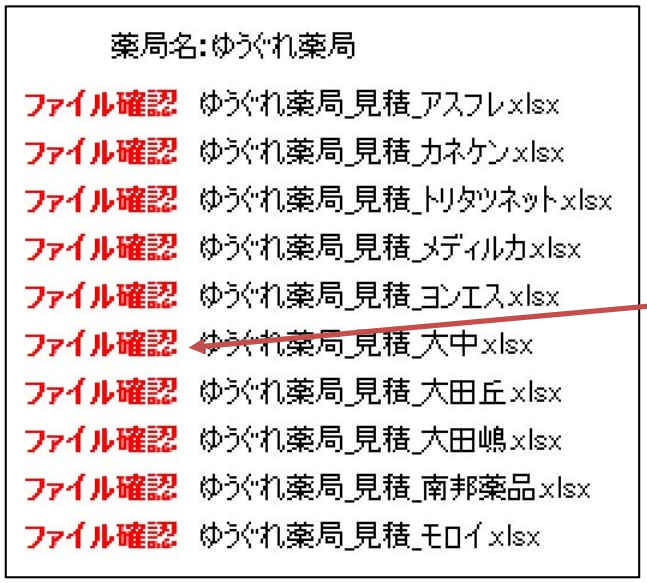
出力したファイル名は変更しないようにしてください。また、ファイルの構成（データの並び）を変更することはしないでください。見積ファイルを回収して来ても読み込めなくなる可能性が高くなります。

見積依頼 Excel ファイル読込、集計



スタートページの「見積ファイル回収集計」のボタンを押すことで、作業を行うページに移行します。

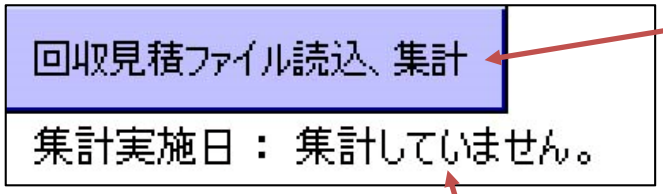
読み込むファイル名が下記のように表示されます。ドライブ C の「Mitumori2」フォルダ内の「回収読込フォルダ」内に回収したファイルを保管してください。



このページを開いたタイミングで、フォルダ内のファイルを確認します。

確認が取れると「ファイル確認」の表示が出て、読み込むことができます。ファイルをコピーしたのに「ファイル確認」の表示が出ない場合、ファイル名が変更されていますので、画面通りにファイル名を変更してください。

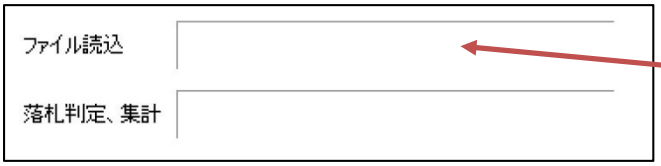
登録している卸問屋名すべてのファイル名が表示されていますが、全部のファイルを同時に読み込む必要はありません。⇒ 回収したファイルから読込み、見積の状況を確認することができます。ただし、最終の結果を集計する場合は全ファイルを同時に読み込む必要があります。見積価を読込む時点で前に読込んだデータは削除されるためです。



左のボタンを押すことで回収した見積依頼 Excel ファイルを読み込み、集計を実施します。

読み込むファイルが一つも確認できない場合（「ファイル確認」が一つも表示されていない場合）、読込ボタンは押せない状態になります。

また、過去にファイル読込、結果集計を行っている場合、その集計実施日がボタンの下に表示されます。（この表示は過去の集計がされていない場合です。）



読込、集計ボタンを押すと左の進行バーに状況が表示されます。時間がかかるケースがありますが、お待ちください。

見積結果の集計が終了している場合、その結果を５回分、保管することができます。左のボタンを押すことで、保管する画面が開きます。

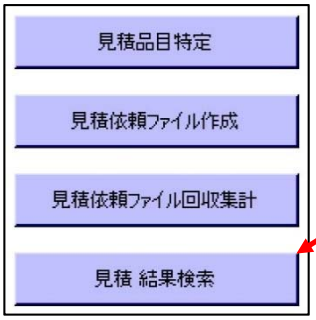
見積結果（値入状況）の推移を確認、分析するサポートになります。必要に応じて保管処理を行ってください。

ご注意！！

比較する見積価は同時に読み込む必要があります。読み込む作業では、データをクリアすることから始まりますのでご注意ください。(過去データとして保管している見積集計はクリアされません)

読み込む Excel ファイルの名称、ファイル構成（データの並び）が異なっていると読み込めません。読み込み時、エラーが発生した場合はファイルの構成を第一にご確認ください。

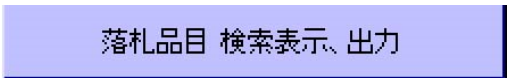
見積結果を検索する



スタートページの「見積結果検索」のボタンを押すことで、作業を行うページに移行します。

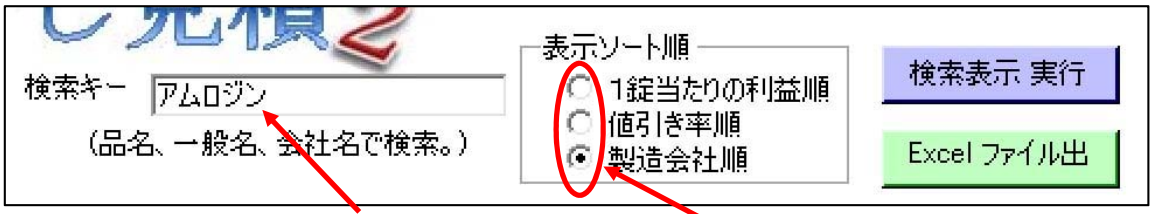
当ページのメイン画面のひとつは下記の画面になります。現在の見積結果の内容を確認できます。

現在の見積の集計実施日は 2016/3/4 に集計されたと表示されています。目的の見積は集計されているか、この集計日のデータを確認することでいいか判断してください。見積の集計がされていないと、これら３つのボタンは押せない状態になっています。ご注意ください。



左のボタンを押すことで、品目ごとの見積結果を確認のページに移行します。

「落札品目検索画面」のメインは下記になります。品目の検索は、品名、一般名、



販売会社名のあいまい、And 検索になります。And 検索の場合、検索キーは 2 つまでで、半角スペースを入れることで And 検索になります。

ジェネリック品目を含んでの見積になることもありますので、値引きの大きい順、1 錠差益額の多い順、製造会社順で並べ替えをすることができます。

なぜ、製造会社が入っているか？それは、PTP 包装の同一性です。販売会社が異なっていても製造会社が同じなら、PTP 包装、錠剤の形状は同一の場合がほとんどと考えるからです。見積価格でジェネリック品のブランドを変更する場合、PTP 包装のデザインの同一はメリットになります。また、安定供給がされない場合、他の販売会社に変更するときの選択基準になりえると考えるからです。

「検索実行、表示」ボタンを押すことで検索結果が表示されます。ソート順を変更した場合も、再度、検索実行、表示」ボタンを押してください。

検索結果は以下のような表示になります。

GE	品名	一般名	規格	包装	薬価	包装数	包装薬価	見積価	値引率	単位利益
GE	ネオマレルミン錠2mg	d－クロルフェニラミンマレイン酸塩	2mg 1錠	10錠 PTP	5.6	100	560	502	10.36 %	0.5
	ポララミン錠2mg	d－クロルフェニラミンマレイン酸塩	2mg 1錠	10錠 PTP	5.6	1,000	5,600	5,021	10.34 %	0.5
NP	アコファイド錠100mg	アコチアミド塩酸塩水和物	100mg 1錠	10錠 PTP	37.2	100	3,720	3,293	11.48 %	4.2
NP	アコファイド錠100mg	アコチアミド塩酸塩水和物	100mg 1錠	10錠 PTP	37.2	500	18,600	16,613	10.68 %	3.9
NPC	ソビラックスクリーム5%	アシクロビル	5% 1g	2G 包装小	331.8	2	664	584	12.05 %	40.0
NPC	ソビラックスクリーム5%	アシクロビル	5% 1g	2G 包装小	331.8	2	664	584	12.05 %	40.0
NPC	ソビラックス軟膏5%	アシクロビル	5% 1g	5G 包装小	331.8	5	1,659	1,508	9.10 %	30.2

背景の色の違いは当該品がジェネリック品目/先発品/後発のある先発品の区別で変わってきます。一番左の列のデータに依存します。

NP	：緑色	ジェネリックのない新薬です
NPC	：ピンク色	ジェネリックのある新薬、置換率の計算対象品です。
GE	：無色	ジェネリック品、置換率の計算対象です。

（厚生労働省の薬価基準表のフラグに基づいています）

Excel ファイル出力はこの検索結果と同一の内容をファイルに書き出します。

ドライブ C の「Mitumori2」フォルダ内の「見積結果」フォルダに書き出します。ファイル名はソートオプションで 「見積結果_単位利益順_xxxx.xlsx」
「見積結果_値引率順_xxxx.xlsx」
「見積結果_製造会社順_xxxx.xlsx」になります。

xxxx は検索キーになります。また、検索キーがない場合、xxxx はなくなります。作業進行バーがあります。大量のデータ出力には時間がかかりますのでご注意ください。

ご注意！！

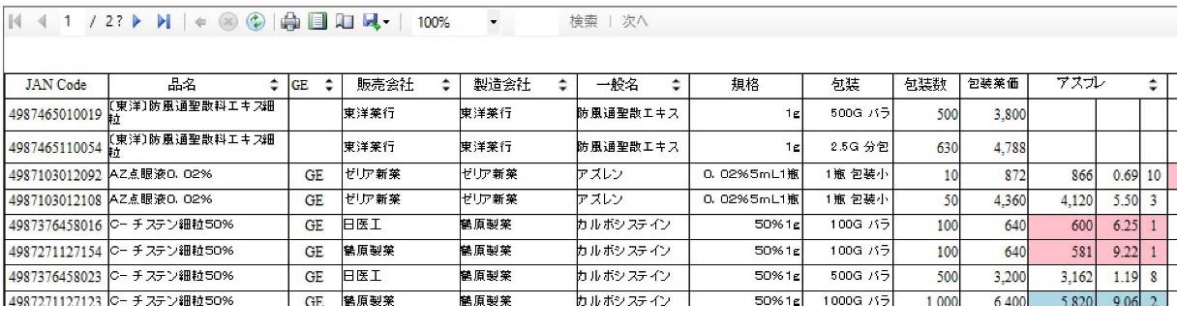
表示データは現時点の見積集計結果を表示しています。読み込まれている見積の落札卸の入札価を表示しているということです。

回収した見積データが全部そろっているか？ ご確認ください。

また、保管してある見積結果の検索、確認は別画面になりますのでご注意してください。

下のボタンを押すことで、今回集計した見積を、品目ごとに、卸問屋さんがいくらで値入したかを全卸問屋さん分一覧表にします。落札卸さんはピンク色、2 番札の卸さんはブルーに背景を塗っています。

見積結果 一覧表 表示



JAN Code	品名	GE	販売会社	製造会社	一般名	規格	包装	包装数	包装薬価	アスプレ		
4987465010019	(東洋)防風通聖散料エキス細粒		東洋薬行	東洋薬行	防風通聖散エキス	1g	500G バラ	500	3,800			
4987465110054	(東洋)防風通聖散料エキス細粒		東洋薬行	東洋薬行	防風通聖散エキス	1g	2.5G 分包	630	4,788			
4987103012092	AZ点眼液0. 02%	GE	ゼリア新薬	ゼリア新薬	アズレン	0. 02%5mL1瓶	1瓶 包装小	10	872	866	0.69	10
4987103012108	AZ点眼液0. 02%	GE	ゼリア新薬	ゼリア新薬	アズレン	0. 02%5mL1瓶	1瓶 包装小	50	4,360	4,120	5.50	3
4987376458016	C－チステン細粒50%	GE	日医工	鶴原製薬	カルボシステイン	50%1g	100G バラ	100	640	600	6.25	1
4987271127154	C－チステン細粒50%	GE	鶴原製薬	鶴原製薬	カルボシステイン	50%1g	100G バラ	100	640	581	9.22	1
4987376458023	C－チステン細粒50%	GE	日医工	鶴原製薬	カルボシステイン	50%1g	500G バラ	500	3,200	3,162	1.19	8
4987271127123	C－チステン細粒50%	GE	鶴原製薬	鶴原製薬	カルボシステイン	50%1g	1000G バラ	1,000	6,400	5,820	9.06	2

レポート機能が使えます。

印刷、印刷レイアウト、ページ設定、エクスポート機能のボタンです。

見積集計の結果ファイルを出力します。

見積結果 ファイル出力

見積結果の一覧表、卸問屋さんへの落札品目の連絡用ファイル、品目ごとの落札金額落札卸の一覧表（Excel 形式）、本部向けの見積結果ファイル、落札品目一覧表をドライブ

C の「Mitumori2」内の「見積結果」フォルダに作成します。

集計実施日： 2016/03/04 集計

集計日が表示されていますので確認してください。

卸向け 落札品目ファイル
落札品目_アスフレ_20160304.xlsx
落札品目_カネケン_20160304.xlsx
落札品目_トリタツネット_20160304.xlsx
落札品目_メディルカ_20160304.xlsx
落札品目_ヨンエス_20160304.xlsx
落札品目_大中_20160304.xlsx
落札品目_大田丘_20160304.xlsx
落札品目_大田嶋_20160304.xlsx
落札品目_南邦薬品_20160304.xlsx
落札品目_モロイ_20160304.xlsx

落札結果ファイルの作成リストが表示されています。

「落札結果」次に登録された卸問屋名称、集計実施日の Excel ファイルを作成します。

本部向け ファイル
見積結果_20160304.xlsx
落札品目一覧_20160304.xlsx

本部向けファイルは、品目ごとの全卸問屋さんの見積結果ファイル（落札判定付きの見積価リスト）と落札品目一覧（落札価格、落札卸、値引率、差益額つきリスト）を作成します

作成に時間がかかりますが、進行表示バーで進行状況を確認してください。

当ページのもう一つのメイン画面は下記の画面になります。

保管した過去データを確認、分析できます。

左の 2 つのボタンで確認することができます。

保管データ：
1：2015/02/30 2015年再見積
2：2015/02/10 2015年1回目
3：2014/03/04 2014年最終
4：2013/03/04 2013年最終
5：2012/03/04 2012年最終

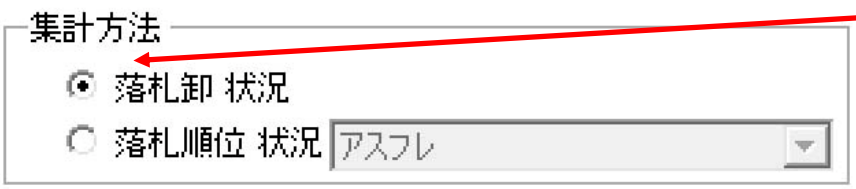
保管されている見積結果の集計日、保管する時点の、その結果に対して付加した説明が表示されています。

見積結果が保管されていないとボタンは押せない仕様になっています。ご注意ください。

見積 値入状況、落札価 経時変化

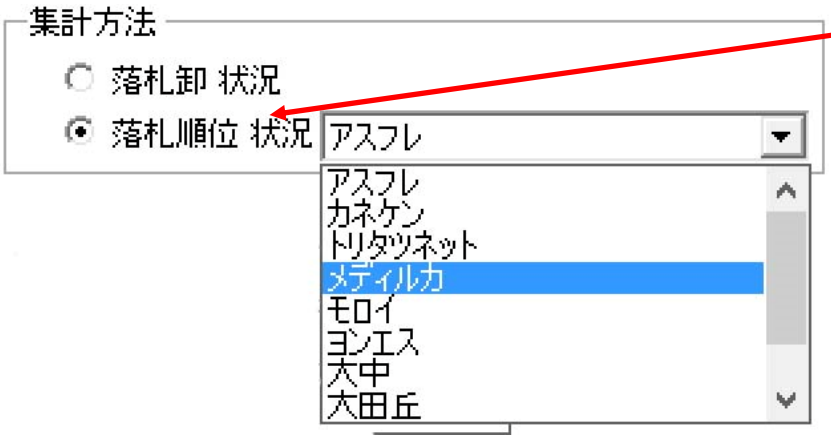
左のボタンを押すことで、保管結果を 1 回分、複数回分、選択して見積価格の変化、落札卸の変化を確認できます。

ボタンを押すことで画面が変わり、次の選択を行います。



品目を検索して、落札金額、落札卸がどう変わっているか、集計結果の日付順で

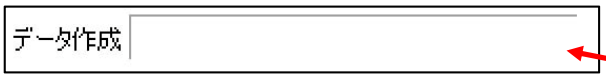
並べ替える場合はこのラジオボタンを選択してください。



卸問屋を指定し、その卸問屋の値入価の変化を確認する場合の指定はこのラジオボタンを選択すると同時に卸問屋名も選択してください。

次に、どの保管データを比較、確認するかを指定(チェックを付けて)してください。最大 5 回分（全部）を指定することができます。説明を参考にして選択をしてください。

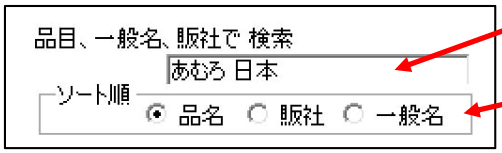
確認するデータを選択することで左のボタンが利用可能になります。



データを再集計するため、若干時間がかかります。

集計後、新たなページが開きます。データ作成の進行バーを参考にしてください。

次のページで表示の検索画面が出ます。



検索キーと表示時のソート順を入力して「検索実行」ボタンを押してください。

検索キーは品名、一般名、販売会社のあいまい検索になります。

半角スペースを間に挟み、検索キーを 2 つ設定できます。この場合は And 検索になります。

この例は、「あむろじ」と「日本」の And 検索になり、品名の昇順でソートされます。「検索実行」ボタンで画面表示されます。

ジェネリックのない新薬は緑色に

ジェネリックのある新薬、置換率の計算対象品はピンクに色分けしています。

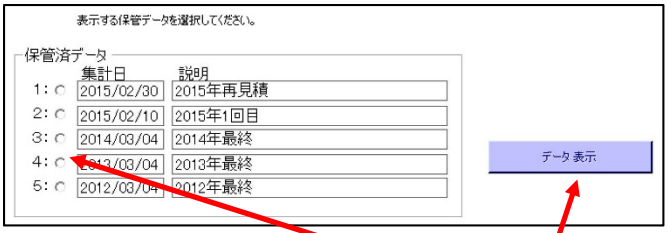
表示されている保管見積結果の集計日です。複数の集計日が選択されている場合

は右側にデータが続きます。

「検索実行」で結果がヒットすると、「Excel 出力」ボタンが使用可能になります。「Excel 出力」ボタンを押すことで、同条件の Excel フィルを作成します。ファイル作成場所はドライブ C の「Mitumori2」内の「見積結果」フォルダに「落札状況.xlsx」というファイルが作成されます。

保管した見積結果を選択して表示します。その時点の卸毎の値入価を確認できます。左のボタンを押すことで、データを選択する画面に移行します。

見積後の卸問屋との交渉を行う場合の資料になると思います。

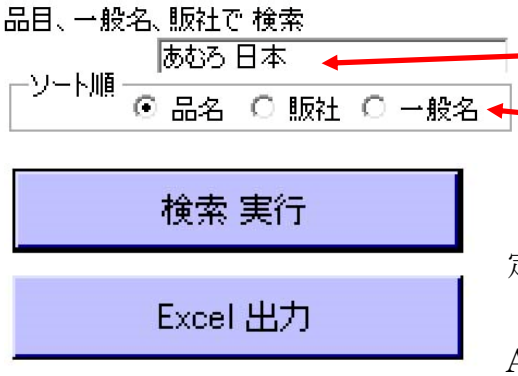


保管してあるどの時点の見積結果を表示するかを選択してください。

集計日と、そのデータに対する説系、コメントが表示されていますので選択の参考にしてください。

いつの保管見積データを使うか、ラジオボタンをチェックして選択してください。なにも選択していないと「データ表示」ボタンは押せない状態になっています。

「データ表示」を押すと、データを準備し、データ検索表示画面に変わります。



表示時の検索キーとソート順を入力して「検索実行」ボタンを押してください。

検索キーは品名、一般名、販売会社のあいまい検索になります。

半角スペースを間に挟み、検索キーを 2 つ設定できます。この場合は And 検索になります。

この例は、「あむろじ」と「日本」のあいまい、And 検索になり、品名の昇順でソートされます。

「検索実行」ボタンで画面表示されます。

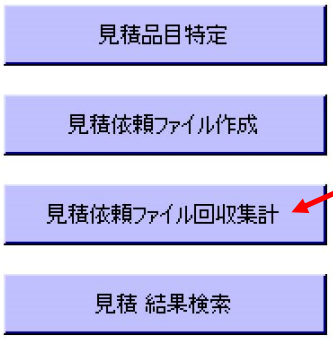
ジェネリックのない新薬は緑色に

ジェネリックのある新薬、置換率の計算対象品はピンクに色分けしています。

表示されている保管見積結果の卸名称です。複数の卸問屋の値入がある場合は右側にデータが続きます。

「検索実行」で結果がヒットすると、「Excel 出力」ボタンが使用可能になります。「Excel 出力」ボタンを押すことで、同条件の Excel フィルを作成します。検索条件によって、Excel ファイル作成に時間がかかります。進行表示バーが表示されますので進行状態を確認してください。ファイル作成場所はドライブ C の「Mitumori2」内の「見積結果」フォルダに「保管見積結果 xxxxxxxx 集計.xlsx」というファイルが作成されます。xxxxxxxx は見積の集計日を表しています。

見積結果を保管する



スタートページの「見積依頼ファイル回収集計」のボタンを押してください。ページから「集計結果 保管」のページに入れます。

集計結果を５回分、システムに保管することができます。

集計日は左のように表示されています。集計日は自動的に書き込まれます。メモ、コメントを説明欄に記入してください。同時に保管できます。

保管方法

現在の保管済み結果が表示されています。

保管済みのデータの場所のボタン(ピンクのボタン)を押すと旧保管の見積結果と差換えになります。何も保管されていない場所のボタン(ブルーのボタン)を押すと新規保管になります。両方の保管処理とも確認メッセージが出ます。

集計日順に並べ替えて表示されますので、途中の番号で保管しても、最新の保管データは１番上にソートされてきます。

説明欄の変更方法

修正したい保管データの右側の修正ボタンを押してください。メモ、コメントデータが上部のテキストボックスにコピーされます。

それを基に修正を行い、保管して下さい。修正作業が完結します。

保管データを利用することで、

1.医薬品の落札値段、落札卸問屋の推移を確認することができます。

2.卸問屋の値入の推移を確認できます。

過去からの推移を確認することで、また、包装による値段の違いなどを確認することで、値段交渉の一助にしてください。

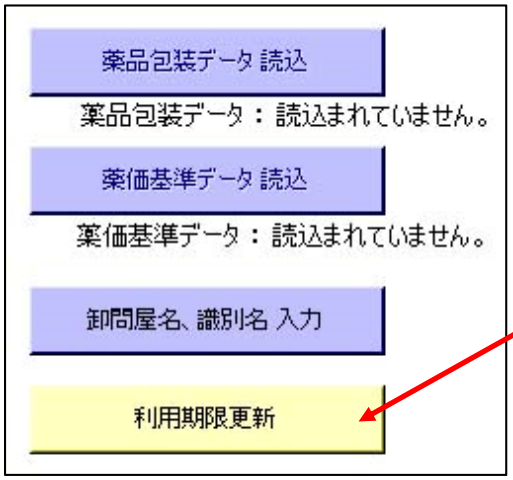
利用期限更新

このプログラムはシェアウェアとして提供させていただいております。

試用期間はインストール後 30 日間になっており、一部機能制限の上、その他の機能は制限なく、お試しいただけます。(卸問屋さんの登録が 3 軒までに制限しています。) 継続使用するためにはこのページで更新手続きをお願いします。

スタートページから下の「基本データ更新」ボタンを押します。

基本データ更新のページに移行します。



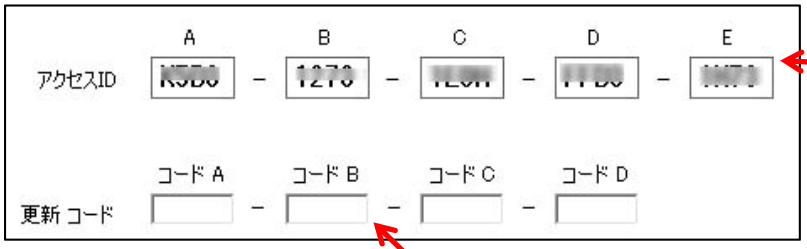
基本データ更新のページでは「利用期限更新」のボタンを押してください。

試用期間の **30 日を過ぎると以下の機能が停止**します。

- 「見積依頼 Excel ファイル」の作成
- 見積ファイルの読込、集計機能
- 卸問屋名、識別名称の変更

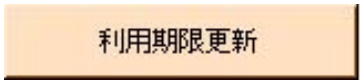
ただし、読み込まれているデータ類は保持されています。

利用期限更新ご希望の方はこのページの情報を使い、期限更新の手続きをします。使用料金（1,000 円＋消費税）をご負担してください。支払方法は、Vector 様のシェアレジを使うか、郵便振替でお願いします。



その後、このページに表示されているアクセス ID をメール（メールアドレスは下記参照）でご連絡ください。入金が確認でき次第、更新コードを返送します。

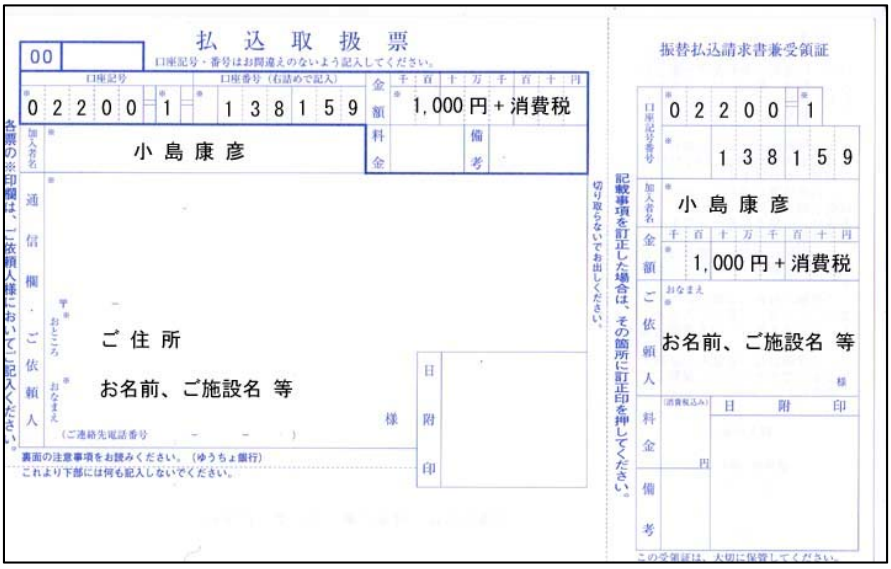
返送された更新コードをテキストボックスに入力し、「利用期限更新」ボタンを押すことで、利用期限が 1 年間延長になります。（アクセス ID は変更されます。）



メールアドレス：magonoteplanning@pure.ocn.ne.jp

メールでの連絡項目：

1．　プログラム名「てまなし見積」　（必須項目）
2．　アクセス ID　（必須項目）
3．　振替日
4．　お名前、名称
5．　ご住所
6．　登録用メールアドレス　等



（振込確認が取れるようにお願いします。）

確認ができ次第、更新コードを返送いたします。

郵便振替をご利用の場合は、左記振替票のようにご記入ください。

メールは頻回にチェックをしていますが、返信に時間を要する場合があります。余裕をもって手続きをお願いします。

利用期限の考え方

利用期限が残存している場合：残存期限に１年が加算されます。
（利用期限が２か月残存している場合、１４か月になります）
利用期限が切れている場合：更新コードを入力した日から１年になります。

連絡先

ご質問、ご要望等、ございましたら、下記メールアドレス宛にお願いします。

メールアドレス：magonoteplanning@pure.ocn.ne.jp

よくある質問

いつの時点の値引き率が計算されますか？

見積依頼の Excel ファイルを回収し、読込、集計をかけた時点で、システムに読み込まれている薬価基準データで計算され、それが反映されます。

正確に表現すると、見積依頼 Excel ファイルからは、HOT コード、JAN コードや見積価を読込みます。それ以外の医薬品情報は、システムに入っている「薬品包装」データ、「薬価基準」データの内容で再構築されます。卸問屋さんが品目の情報を誤って変更した場合や、新たに見積品目を追加してきた場合でも対応するためです。

そのため、見積を依頼した後に、新版の「薬品包装」データ、「薬価基準」データがリリースされた場合は、新版を読込んだのちに集計することを推奨します。

また、「薬価基準」データの場合、追補収載の場合、読み込んでも問題はありませんが、薬価改正が起きた場合は、データを読み込むことで、元の薬価(見積の依頼時)と、値入された価格自体、基準が異なる可能性がありますので、ご注意ください。

過去の見積価との比較は何ですか？

見積は定期的にとるものと考えます。同じ薬の値引きの変遷、納入卸

の変遷などを比較して、分析する資料を作ります。

過去の見積とは、いつ時点の見積ですか？

見積を集計した時点で、その見積情報はシステム上、保持されています。それを「保管」してください。

5 回分の保管ができます。保管情報は、集計年月日、ユーザーコメント(任意)、集計時点の薬価、納入価、納入卸名称が JAN コードベースで保管されます。それを組み合わせてレポートします。

なぜ HOT コードで集計するのですか？

「薬品包装」データには JAN コードの欠落が見られます。新薬、ジェネリック医薬品の発売直後に欠落が見られる傾向のようです。

卸問屋さんの値入を考慮すると JAN コードは必要でありますが、欠落した JAN コードを補完する手間は大変です。そのために HOT コードを利用しています。

卸問屋さんが独自で見積品目を追加してくる場合、JAN コードは必須になります（HOT コードはなくてもかまいません）。

ただし、「薬品包装」データに独自に追加した見積品目の JAN コードが存在しない場合、Excel 上に記載された医薬品情報（品名、規格、薬価等）が集計に利用されます。新発売で「薬品包装」データに収載されていない医薬品の追加の場合は医薬品情報の記載もお願いしてください。

見積品目の特定方法は？

調剤システムからの医薬品購入情報や、処方情報には電算処理コードと呼ばれるコードが、また、卸問屋さんに依頼すればもらえる納入医薬品の JAN コードリストなど、なにかしらの医薬品のコードを読み込みます。これにより、医薬品の包装とか規格まで、医薬品自体を特定できます。これに紐づいた薬価基準収載コードを特定し、同じ薬価基準収載コードをもつ医薬品の規格、包装を見積品目として特定します。

ただし、今回利用している「薬品包装」データには、現在発売されていない医薬品の包装も収載されており、それも含めて、見積の対象品目とされていますので、ご了承ください。例としては、製薬会社の合併、名称変更等で JAN コードが異なる場合とか、製薬会社間の品目の継承とかの問題があるようです。見積価が入っていなければ最終集計からは外れますので無理に外す必要はないかと考えます。

当システムで認識するコード体系は以下になります。

HOT コード
JAN コード
薬価基準収載コード
個別医薬品コード
レセプト電算処理システムコード

ジェネリック品目へ見積対象を拡張できません。なぜですか？

「薬価基準」データに、一般名の情報が収載されています。そのため、「薬価基準」データが読み込まれていない場合、この機能は使えません。薬価基準データが読み込まれているか？ご確認ください。読み込まれていないようでしたら、読み込むようにお願いします。

ジェネリック品目へなぜ見積品目を拡張するのですか？

「薬価基準」データが読み込まれていないときは、この機能は使えませんので、ご注意ください。

同じジェネリックといえども、納入価には大きな差があるようです。薬局の収益性を考えるにあたり、手間をかけずに、少しでも差額のとれる品目を探したいというニーズにこたえるためのものです。

また、ジェネリック品は品不足になったり、発売中止になったりと安定供給のリスクがついて回っています。今回のシステムでは販売会社だけではなく、製造会社にもスポットを当てたレポートにしています。販売が異なっても製造会社が同一ならば、PTP などの最終包装や、錠剤の刻印は同一のケースが多々見られますので、もしもの時の代替納入時の参考になればと考えています。

卸問屋から回収した見積の Excel ファイルが認識されません。

Excel のファイル名を確認してください。ファイル作成時と名称が異なると読み込むことはできなくなります。数字が追加されていたり、全角/半角が変わっていたりすると認識されなくなります。

また、見積依頼 Excel ファイルを作成した後、卸問屋名称、薬局(会社)名称を変更した場合、読み込めなくなります。この場合、ファイル名をシステムの登録名称（読込画面に表示される名称）に変更するか、システムに登録されている名称を、Excel ファイル名称に戻す必要があります。

Excel の拡張子を確認してください。このシステムの標準設定の拡張子は「xlsx」です。回収してきたファイルが「xls」では読み込めません。

Windows の設定によっては、拡張子が出ない設定になっていることも

あります。その場合、拡張子を表示する設定に変更した後に確認してください。「エクスプローラー」のメニュー「表示」の中に設定がありますので変更して確認してください。

追加見積品目がうまく集計されません。なぜですか？

卸問屋さんが独自に追加した見積品目は、JAN コードで「薬品包装」データに紐づけます。そこに原因があると考えます。

他の卸問屋さんの見積データと別途に存在する場合は JAN コードを疑ってください。全角/半角の違い、桁数、コード自体の誤り等をまずご確認ください。

医薬品情報が正確に表示されていない場合、「薬品包装」データ内に追加品目の JAN コードがない場合、入力された JAN コードが誤っている場合が考えられます。

いずれにしても JAN コードを確認したうえで、最新版の「薬品包装」データ、「薬価基準」データが最新かどうか、チェックしてください。

「薬価基準」データがうまく読み込めません。なぜですか？

厚生労働省のダウンロードデータのフォーマットを確認してください。薬価データはL，M，N列(12，13，14番目)にあるでしょうか？ 違う列にある場合は L，M，N 列になるように調整してください。この３列にあれば読み込めます。

利用期間が急に短くなったのですが、なぜですか？

当プログラムはコンピュータの内部カレンダー、時計を利用しています。そのカレンダー、時計の設定が変更になった場合、利用期限が短くなることがあります。このカレンダー、時計はインターネット等で正確に同期されていますので、手動で変更しないでください

見積依頼 Excel ファイルのシートロックを外したいのですが。

見積依頼 Excel ファイルのシートは、誤記入防止の観点から、薬の情報セル、値引き率のセルにはロックをかけています。

逆に、見積価を入力するセルと、最下段の２０行にはロックはかかっていません。

シート全体のロックを解除する必要がある場合、Excel の機能を使うことで、ロックを外せます。Excel2013 の場合、「校閲」の中に「シート保

護の解除」があります。これを押すとシート保護が解除されます。パスワードの設定はありませんのでワンクリックで解除できます。他のバージョンの Excel の場合はヘルプ等でシート保護解除方法を確認してください。

各ファイルの作成場所、保管場所を変更したいのですが。

今回のシステムでは、ファイルの書出しフォルダ、読込フォルダの変更機能はつけていません。

所定のフォルダを使うようにお願いします。

見積価に小数点以下の数字が入っているのですが。

見積価の小数点以下の数字について、読み込むとき、四捨五入の処理を行っています。（Excel の表示上、同じになっていると考えます。）

切り捨てを行った場合、納入希望価が下がる可能性があるためです。

見積依頼品の全部に見積価が入っていないのですが。

見積価欄が空白でも、問題はありません。

当然、取り扱いのないメーカーさんもあると思います。空白のままでも問題なく集計できます。

全部の卸問屋さんから Excel が回収できていません。

何度でも読込、集計は可能です。回収できた卸問屋さんのファイルから読込んで確認することができます。当然、1 つのファイルのみでも読込はできます。（集計の意味はありませんが）値入状況の確認など何度でも読込、集計を行ってください。

ただし、新たにファイルを読み込むと、前に読込んだデータはクリアされます。比較検討をする必要のある卸データは同時に読み込んでください。

プログラムの変更（改修）の依頼はできますか？

連絡先へご連絡ください。

利用期限の１年間延長とは、いつになりますか？

トップページに表示されている利用期限の１年後になります。例えば、お試し期間が 1 か月残存している場合に更新すると、13 か月後に利用期限が設定されます。

また、利用期限が切れている場合は、更新日から１年間になります。

見積品目を卸問屋さんが独自に追加することはできますか？

見積依頼ファイルに追加してください。集計対象の品目となります。

入力データとして、JAN コードは必須になります。品名、規格はできる限り埋めてください。「医薬品包装」データに合致する JAN コードがある場合、品名、規格は「医薬品包装」データの情報を利用しますが、合致しない場合、卸問屋さんの追加された品目情報を利用して集計します。JAN コードで集計していますので、JAN コードが誤っていた場合、正しく集計できません。HOT コードの列も見積依頼ファイルにありますが、必須データではありません。

利用期限の更新は１年しかできませんか？

更新期間は 1 年単位でお願いしていますが、複数年の更新をすることはできますので 1,000 円 X 年数 + 消費税 で利用料金をお支払いいただき、その旨、メールでご連絡をお願いします。

なぜ、モジュールのインストールが必要ですか？

Windows の標準機能を使ってプログラムを組んでいますが、PC の環境によりモジュールが不足している可能性があります。

１． データベースのモジュール

２． レポート機能のモジュール

この 2 本のモジュールが必要になる場合があります。同梱のプログラムをダブルクリックしてインストールをしてもらうか、Microsoft の Web サイトで最新のモジュールをダウンロードしてインストールしてください。

保管データで卸問屋の過去データが連続しないのですが？

卸問屋の名称を削除して、新規登録していませんか？卸問屋の名称はコード管理をしていますので、削除➡新規登録をした場合、コード番号

は新しくなりますので、別の卸問屋と認識されます。
　卸問屋の名称が変わった場合は、システム上、名称の修正で対応してください。

卸問屋が合併しました。どう処理すべきですか？

　過去の取引の多い卸問屋、重要性の高い卸問屋をシステム上の存続卸問屋として、その卸問屋の名称を変更してください。
　卸問屋の名称はコード管理をしています。名称が異なっても同一コード番号が振られるため、その卸問屋の過去の見積データとの連続性が保たれます。
　現在、見積を卸問屋さんに依頼中の場合、その見積を回収、集計した後に名称変更を行ってください。回収、集計前に名称変更を行うと、見積 Excel ファイルを読み込めなくなります。ご注意ください。

卸問屋の名称が変わりました。どう処理すべきですか？

　名称を変更してください。卸問屋の名称を削除して、新規登録した場合、別の卸問屋として認識され、保管したデータで連続性が保てません。ます。卸問屋の名称はコード管理をしているためです。
　卸問屋の名称が変わった場合は、システム上、名称の修正で対応してください。

古い「薬品包装」データ、「薬価基準」データを読み込みました

　新しいデータを再度、読み込んでください。すべてのデータは、差し替え、再計算されます。

データはどこに保管されていますか？

　ドライブ C の「Mitumori2」内、「DB」フォルダに MS-Access のファイルとして保存されています。
　直接、操作して問題を生じるといけないので、コピーしてから利用してください。

2016/04/01 版